

主要225銘柄

2010.3.4

<日足から想定される今後1週間程度の相場>

日足は回帰値(緑色の実線)を跨いで極短い陽線となっています。回帰値を跨いだ後は転換しやすいタイミングとなりますが、2月の末に回帰値を陰線で跨いだ後、そのまま下値圏(水色の帯)へ向かうことなく上昇しつつある回帰値に絡んだ展開が続いていますから、売り圧力はそれほど強くはないことが示唆されます。

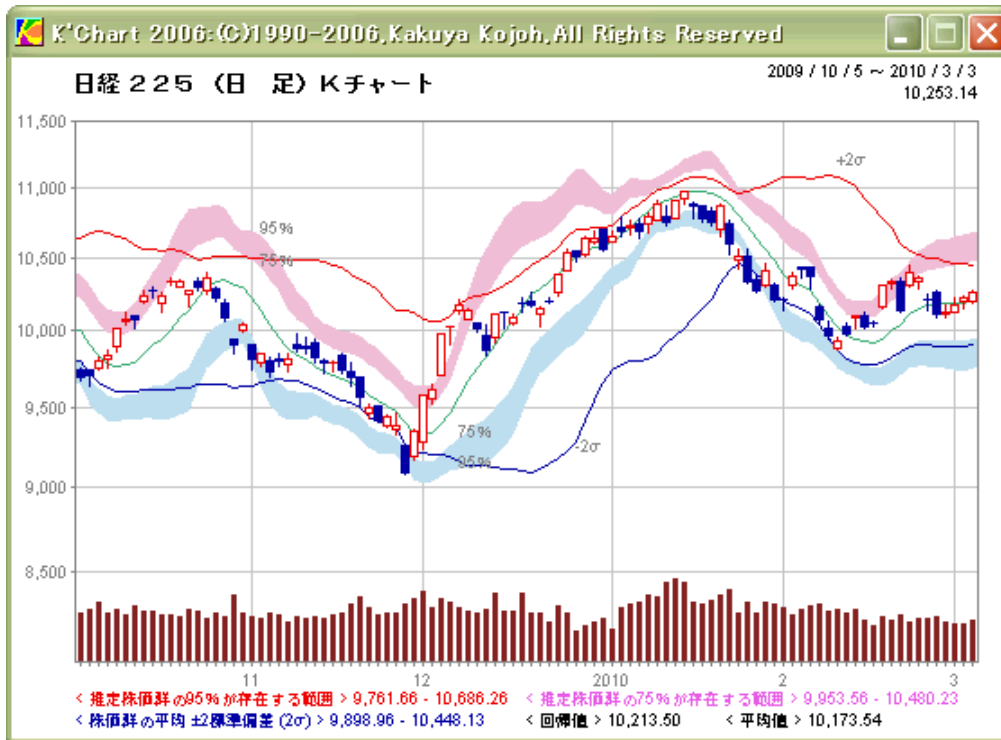
<週足から想定される今後1カ月程度の相場>

週足は下値圏と回帰値の間で極短い陽線となっています。1月第5週に回帰値を割り込んだ後、まだ実体(ローソク足の太い部分)が下値圏に入っていないから、下値を確認して反発に入ったとは言えず、下値圏へ向かう途上である可能性があります。このまま反騰に転じる可能性がない訳ではありませんが、イレギュラーな展開なので、先行する日足の動きを見極めつつ慎重に判断した方が良さそうです。

<月足から想定される今後3カ月程度の相場>

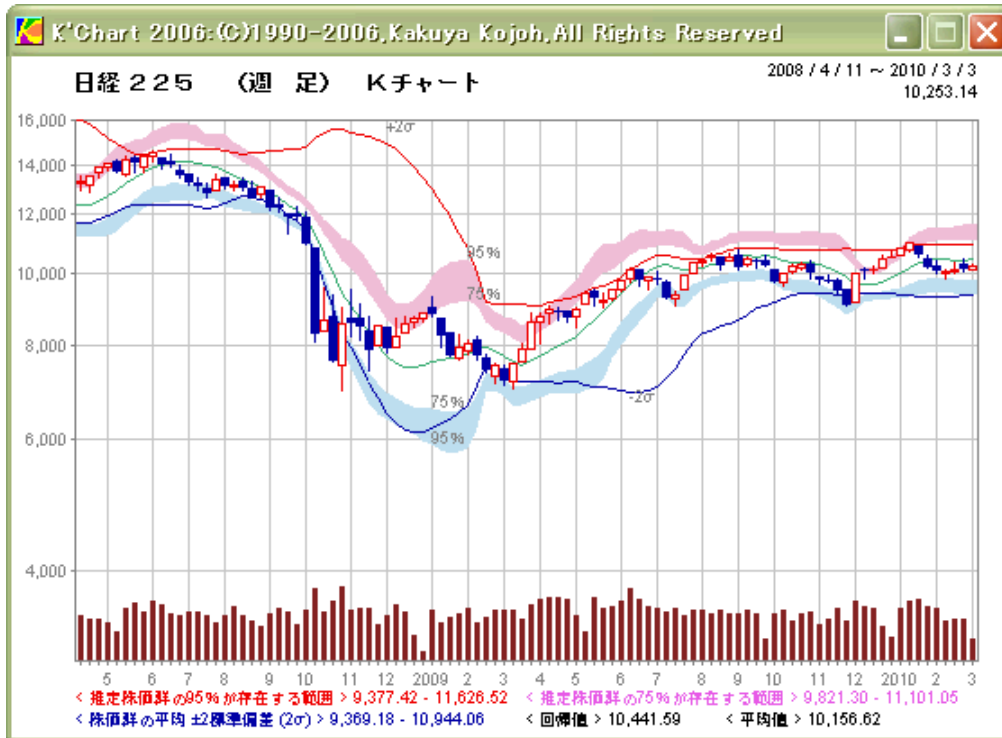
月足は回帰値を僅かに上回る位置で極短い陽線となっています。昨年9月に高値圏を下げられていますから、当面は回帰値へ向かう途上にあると考えられ、回帰値が上昇しつつあるので、このまま横に這っても1,2カ月の間に回帰値と交差することになりそうです。

国内では今期の業績見通しを上方修正する企業が続出し、新興国の経済も堅調であることから、株価指数は少なくともリーマン・ショック前の水準を回復してもおかしくはありません。しかし、米国では依然として弱い経済指標が散見され、欧州圏ではギリシャの財政不安に端を発した金融懸念を背景として、円が強含む展開となっていることから、今ひとつ伸び悩む展開となっています。



この資料は、テクニカル分析に基づく執筆者の作成日における見解で、有価証券等の売買や特定の投資戦略への参加の勧誘を意図したものではありません。当社が信頼できると判断した公開の情報源から得た情報に基づいて作成されていますが、必ずしも当社の意見を反映したものではありません。その正確性や完全性を保証するものではありませんし、事前事後の通告なしに変更される場合があります。

この資料にある有価証券等の価格や価値は変動する可能性があり、そのリスクや、外貨建ての場合は、為替相場の変動リスクもお客様が負うこととなります。さらに、過去の実績は、必ずしも将来の成果を保証するものではありません。資料の内容がすべてのお客様に適合的であるとは限りませんし、お客様は、ご自身の状況や投資目的に鑑み、ご自身で投資に関する決定をしていただく必要があります。また、売買取引に際しては国内株式対面取引の場合、最大で約定代金の1.05%(税込)もしくは最低2,625円(税込)の手数料が必要となります。なお、この資料のすべての部分について、目的や方法を問わず、無断での複製、転載、転送などを行わないようにお願いします。



この資料は、テクニカル分析に基づく執筆者の作成日における見解で、有価証券等の売買や特定の投資戦略への参加の勧誘を意図したものではありません。当社が信頼できると判断した公開の情報源から得た情報に基づいて作成されていますが、必ずしも当社の意見を反映したものではありません。その正確性や完全性を保証するものではありませんし、事前事後の通告なしに変更される場合があります。

この資料にある有価証券等の価格や価値は変動する可能性があり、そのリスクや、外貨建ての場合は、為替相場の変動リスクもお客様が負うこととなります。さらに、過去の実績は、必ずしも将来の成果を保証するものではありません。資料の内容がすべてのお客様に適合的であるとは限りませんし、お客様は、ご自身の状況や投資目的に鑑み、ご自身で投資に関する決定をしていただく必要があります。また、売買取引に際しては国内株式対面取引の場合、最大で約定代金の1.05%(税込)もしくは最低2,625円(税込)の手数料が必要となります。なお、この資料のすべての部分について、目的や方法を問わず、無断での複製、転載、転送などを行わないようにお願いします。